

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和6年6月15日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川総務課	推進責任者氏名	小室 武司
------	--------	------	----------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標	実績／今後の課題など
1	重点取組項目 A. エネルギー使用量の削減	繁忙期を除き、ノー残業デーの実施を推進した。離席時の画面オフを徹底した。スリープモードの使用も浸透してきている。 【柳島記念館】 電力調達を再生可能エネルギー電力とした。また、空調設備を新調しボイラーを撤去した。
	具体的内容 ・ノー残業デーの推進(毎週水曜日及び給料日) ・PC未使用の際の電源をオフまたはスリープモードの徹底 【柳島記念館】 ・CO2使用量削減のため電力調達を再生可能エネルギー電力とする ・灯油使用量削減のため空調設備を新調しボイラーを撤去する	
2	取組項目 C. 廃棄物の削減	分別を徹底し、収集日に合わせて排出を行った。 【柳島記念館】 植木剪定材をリサイクル施設に搬入した。
	具体的内容 ・物品等は、計画的に購入し、適切な在庫管理を行う。 ・古紙や缶・びん・ペットボトル等の分別排出・リサイクルを徹底する。 【柳島記念館】 ・植木剪定材はたい肥化もしくはチップ化して活用に努める。	
3	取組項目 E. その他	WGBTが31℃以上の場合には朝礼で熱中症への注意を促した。排水指導の現場確認の際には、こまめな水分補給やタブレット・冷却スプレー等に対応した。
	具体的内容 気候変動への適応(熱中症対策) ・暑さ指数(WGBT)を把握し、WGBTが31℃以上の場合の外出時は、熱中症に注意する。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

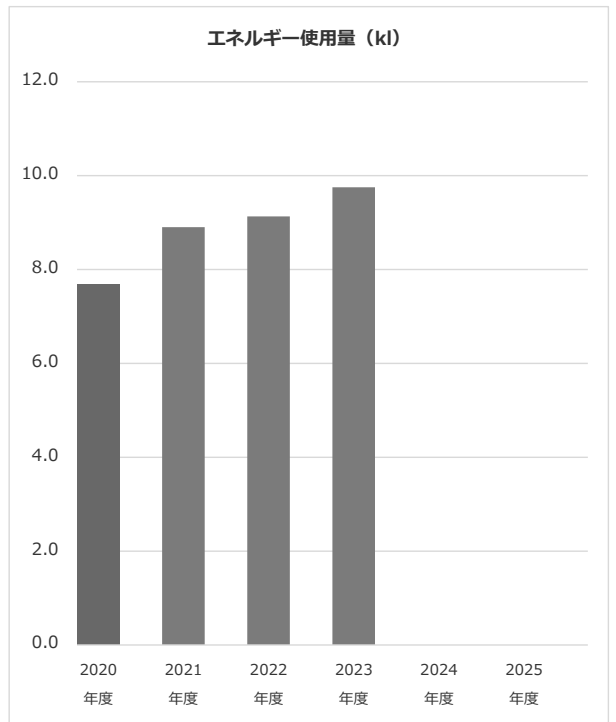
実績	前年度比	6.8% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になった影響等により記念館の利用者が増加し、2023年度は照明の使用量が対前年度比で増加した。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	298.0	345.0	354.0	378.0		
エネルギー使用量(kl)	7.7	8.9	9.1	9.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	15.8%	2.6%	6.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況
1	柳島記念館	計画 施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼する。
		実績 張り紙や口頭で、施設利用者へ空調、照明利用の省エネ協力を依頼した。空調設備の更新工事が完了した。
2		計画
		実績
3		計画
		実績



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日に実施（対象者11名中10名参加。欠席者には別途決定事項の周知を実施）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、当課の取組目標及び具体的な取組を検討し、設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月31日に実施（施設管理対象者7名中7名参加。課内職員には別途決定事項の周知を実施）。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6年 5月 23日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
柳島記念館では、前年度よりエネルギー使用量は増加しましたが、再生可能エネルギー電力への切り替えや空調設備を新調しボイラーを撤去するなど計画していた取り組みは概ね実施することができた。また、離席時の画面オフや昼休み中等のスリープモードの使用によりエネルギー使用量の削減に努めることができた。	柳島記念館において、再生可能エネルギー電力への切り替えと空調設備更新工事が実施されたため、これによりCO2使用量の削減に取り組んでいく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月20日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川建設課	推進責任者氏名	小泉 達史
------	--------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	計画的なの推進など、各職員が業務の進行管理を意識し、ノー残業デーを推進するよう努めた。
	具体的内容	ノー残業デーの推進	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	オンライン会議を活用し、紙資料や時間の削減、会議の効率化に努めた。 また、昼休憩や長時間離席する際にパソコンをスリープモードにすることについて意識的に取り組んだ。
	具体的内容	省エネ・省資源を意識した会議や打ち合わせの実施	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	個別のゴミ箱にプラゴミ専用の分別箱を引き続き設置するほか、裏紙の使用、紙ゴミをはじめ資源物の分別を徹底し、廃棄物削減を行った。
	具体的内容	廃棄物と資源物の選別を徹底し、廃棄物の削減を図る。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

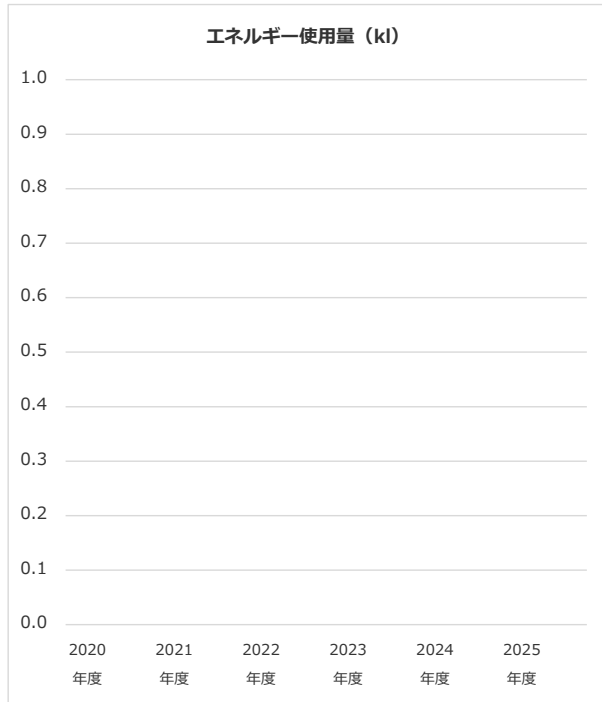
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月30日の朝礼において課員（14人）に対し、G-EMSの概要及び今年度の取組目標について説明を行ったうえで目標設定を行いました。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月30日の朝礼において課員（14人）に対し、該当する環境法令について確認を行いました。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月20日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
・ノー残業デーの実施については、発注工事の管理業務や下水道事業計画変更の対応等があったものの、可能な限りノー残業デーの実施を行った。 ・オンライン会議を活用により、紙資料の削減が定着してきたほか、裏紙の利用など省資源への意識は浸透している。 ・個別のゴミ箱にプラスチックゴミを分別する箱を昨年度から引き続き設置し、資源物選別の取り組みが徹底されている。 ・公共工事については、環境関係法令遵守が行われている。	・工事発注等の業務はあるものの、引き続き可能な限りノー残業デーの取り組みを進め完全実施を目指す。 ・省資源、省エネルギーの取り組みについては、引き続き課内で意識の共有を図りながら取り組む。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日: 令和6年5月22日

部局等名	下水道河川部	課かい名	下水道河川管理課	推進責任者氏名	森野 修作
------	--------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10~11)の取組目標

No.	取組目標		実績/今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	職員による現場調査等を実施する際は、極力相乗りを実施した。
	具体的内容	公用車の効率的利用(相乗り等)の実施やエコドライブに努める	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	委託等の入札・契約については、極力ペーパーレスで行っている。また、課内情報共有については、一部Logoチャットを活用した。
	具体的内容	ペーパーレス(電子契約等)や両面印刷を推進し、電子化による資料の共有や減量化に努める	
3	取組項目	D. 環境配慮契約	「茅ヶ崎市電力の調達に関わる環境配慮実施要綱」に基づき、高圧受電施設については再生可能エネルギー100%による電力供給にて施設運営を実施した。
	具体的内容	「茅ヶ崎市電力の調達に関わる環境配慮実施要綱」に基づいた電力調達を7施設(今宿ポンプ場等)実施する。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

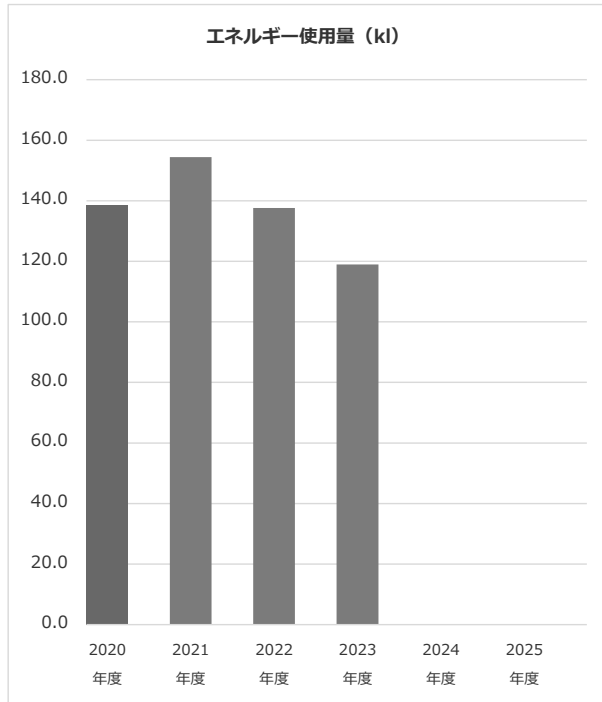
実績	前年度比	-13.5%	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	降雨量が少なく雨水ポンプ設備等の稼働時間が少なかったため			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	5376.9	5985.7	5334.6	4612.1		
エネルギー使用量(kl)	138.7	154.4	137.6	119.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	11.3%	-10.9%	-13.5%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画/実施状況	
1	各施設	計画	不要な照明の消灯を行う
		実績	不要な照明の消灯を行った
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2) 職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	課内で取り組むべき行動（エコオフィス行動ルール）を共有し、C-EMSの理解を深めた。
法令遵守確認研修	■ 実施	同上
新任・異動者研修	■ 実施	新任者を含めた在籍者に対し、C-EMSに関する起案文の共有を行った。
	(選択してください)	

(3) 指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
<input type="checkbox"/> 関係する指定管理者・委託業者はない <input checked="" type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されている <input type="checkbox"/> 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4) 公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った <input type="checkbox"/> マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
事務作業や公共工事においては、節電や再生品の利用といった環境に配慮した対応を行っている。また、より多くの企業に電子入札・電子契約を実施するよう各企業に同システムを利用するよう呼びかけた。	事務作業や公共工事に関しては、引き続き環境に配慮した取り組みを実施していく。下水道施設に関するエネルギー消費量が多いため、大規模な施設・設備の更新時は省エネを意識した設計を行っていく。特にR6年度以降に予定している雨水ポンプ場の電気設備更新時には、変換効率の高い変圧器やLED照明器具を導入する。